



順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	7番 山田 裕一	<p>「幼児・児童・一般」それぞれジャンル向けの推薦ブックリストを作成し、紹介した本を読むとスタンプを押し、全て読破した場合に認定証をプレゼントするなどの企画を実施してはいかがか。</p> <p>(2) 小中学校の長期休業（夏休み・冬休み）時には、小中学生を中心に利用者が急増する。小中学生から「もっと休館日が少なければいいのに」との声が寄せられる。利用者ニーズの観点から、休館日を少なくする検討をしてはいかがか。</p> <p>(3) 日本全体の景気低迷から雇用情勢が悪化し、有効求人倍率からも就職の困難さが見て取れる。そこで就職活動を支援する観点から「就職活動に役立つ書籍等（履歴書の書き方・好印象を与える面接対策などのハウツー本から自分にあった仕事の探し方等）を集めた特設コーナー」を設置してはいかがか。</p>	
2	11番 保科 惣一郎	<p>1 地区公民館のあり方</p> <p>平成15年6月文部科学省は「公民館の設置及び運営に関する基準」を告示し、同日から施行しました。基準については 大綱化・弾力化について 時代の変化に伴って生じる新たな役割について等で、“見直そうおらが公民館”が一気に進んだように感じられます。</p> <p>白石市では5年前に指定管理者制度を導入し、地区の事業は地区の自発的な活動に任されるようになりました。各地区の特色ある事業が出てきておりますし、地区の自立の芽が確実に育ってきております。</p> <p>通常、私たちが公民館という場合は、それには二つの公民館があります。一つは条例上の公民館であり、もう一つが自治公民館といわれるものです。後者は地域住民が自主的に設置し運営するもので、白石市に置き換えて考えますと、各地区の指定管理者（まちづくり協議会・運営協議会）がそれに当たると思います。</p> <p>そうであるならば、地区公民館は各まちづくり協議会・運営協議会に位置づけて、法に縛られない自由なそして幅広い活動が出来る体制づくりが考えられないでしょうか。そしてコミュニティセンターとして位置づけに衣替えができないでしょうか。</p> <p>公民館は地域住民の最も身近なコミュニティーづくりの機関として、施設としての役割が一段と重要視されるでしょう。地域力アップを住民とともにつなげたいと思います。</p>	市長 教育長
3	4番 吉田 貞子	<p>1 行政運営・財政運営と政策決定について</p> <p>(1) 本年度は第4次総合計画、集中改革プランの計画最終年度となっているが、これまでの総括を示しながら、行政運営のあり方についての方向性を示せ。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	4番 吉田 貞子	<p>(2) 国と地方の役割分担の中で、義務付け、枠付けの見直しが行われている。国、県からの通達等による自治体運営から本市独自の運営、自立的で自律的な市の政策形成が求められていると考えるが、どのように認識し、推進していこうと考えるか。</p> <p>(3) 来年度から一括交付金化が実施されることが閣議決定された。この影響と予算編成にあたっての基本的な考え方を示せ。</p> <p>(4) 市税等自主財源の減少状況のなか、本年度から受益者負担の原則にのっとり各種料金、手数料の値上げを実施し、半年を経過した。この半年の状況をかんがみでの来年の財政運営の方針を伺う。</p> <p>(5) ゼロ・ベース予算に対する認識を伺う。</p> <p>(6) 市長の政策決定の基本方針を伺う。</p>	
4	3番 水落 孝子	<p>1 家庭ごみの有料化について 仙南地域広域行政事務組合では、家庭ごみの有料化を、来年10月からの実施を検討中です。これは構成市町である白石市民にとって、毎日のくらしに深くかわる問題であることから、下記の点についてお尋ねします。</p> <p>(1) ごみ有料化の方針決定に至る経過についてご説明下さい。特に、再検討を指示し、どのような再検討結果だったのか丁寧に説明下さい。</p> <p>(2) 平成22年2～3月にアンケートが実施されていますが、白石市民のアンケートへの参加状況と回収数もわかればお示しください。</p> <p>(3) ごみ有料化までのスケジュール表によると平成22年6～9月まで、住民懇談会を開催するとなっていますが、白石市での開催状況(いつ・どこで)と参加人数、出された意見について伺います。</p> <p>(4) 料金の算定において、ごみ処理経費の二分の一以内とした根拠をお示し下さい。</p> <p>(5) また、リサイクルセンターは、粗大ごみ・不燃ごみのほかに、プラスチック・ペットボトルの資源ごみも扱っているのではないかと思います。処理経費全額をもとに算定に計上しているのか、否か伺います。</p> <p>(6) 手数料の使いみちとして、今後建設しようとしている施設の建設費積み立てを視野にいれているのか、否か伺います。</p> <p>(7) 仙南広域議会において、手数料条例改正で実施していくスケジュールのようですが、そこに、住民の『不服審査』請求の道はあるのか、ないのか伺うと共に、住民の『不服審査』請求の道をどのようにお考えなのかお尋ねします。</p>	市長



順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	12番 四 竈 英 夫	<p>うか。</p> <p>地球温暖化が深刻な問題となってきた現在の現在、今後もこうした異常高温の夏が続くことが予想されます。それらに備えてどのような対策を考えておられるかお尋ねいたします。</p>	
7	10番 大 野 栄 光	<p>1 川原子ダム of 自然環境を守ろう</p> <p>初夏の新緑、燃える様な秋の紅葉、湖面に写る逆さ不忘の山並は、川原子ダムの絶景といえます。</p> <p>そんな自然の魅力にみせられ湖畔の廃屋を借り、自然環境の大切さを知ってもらおうと、自然塾を開いている方もおります。市民のみならず遠方よりも来て景色を楽しんでいます。湖に生息している、小魚に有っては水質も最良で他に類を見ない生育を遂げ、釣りファンにとっては、堪らない魅力だそうです。福島や他県、遠方からも来られるとのこと。</p> <p>しかし、ここ数年ダムの水は秋から冬に掛け殆ど水が抜かれ、ポツカリと口を空け、何とも奇妙な光景となります。そんな不自然な姿ではなく、ダム本来の自然環境を守る姿であって欲しいと思っておりますが市長の見解をお尋ねします。</p> <p>2 「南蔵王色彩の森」入園有料化について</p> <p>白石市民の共有財産である蔵王山麓、自然林に澄んだ空気と森の精霊が感じられ、今年の夏の異常気象の猛暑にあっても林の中は体に心地良い涼風と静寂を感じる事ができます。春の水芭蕉の森は長い冬の雪の下、雪解けを待ち湿原一帯に可憐な白い花らしき穂を見せてくれ、春の息吹が感じられます。こぼれんばかりの数々のどうだんの花、又幽玄の世界に浸ることのできる不伐の森。成木した松の木はどこまでも奥が有り自然の深さを感じます。この度公募の中から”色彩の森”という素晴らしい名称をいただきました。これを機に、入園を有料化し、森の自然の大切さを守る基金を創設しそれに充てることを提案いたします。市長のご所見をお願いします。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>
8	2番 管 野 恭 子	<p>1 子育て支援の見地から次の2点について伺う</p> <p>(1) コモンセンス・ペアレンティング(CSP)講座の実施について</p> <p>児童虐待に関する事件が増加している昨今、神奈川県茅ヶ崎市ではその予防のために、米国で開発された保護者向けの訓練プログラムを活用した標記プログラムの講座を今年4月から実施している。CSPは暴力や暴言を使わない子育ての技術を親が習得し虐待の予防・解消を目指すものであり、簡単に実施できるのが特徴。受講者からは「これまでキツク言うことが多かったが、感情でしかる回数が減った。」又、ご飯を食べない子どもをたたいしてしまう</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	2番 管野 恭子	<p>ことで悩んでいた母親が「手を上げないように変わった」等の声があり、効果が生まれている。講師はこのCSPトレーナー研修を受け、行うものであるが、研修料も1人23,000円から30,000円でありコストも低く、本市においても健全な子育て支援の一環として実施の検討をすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 父母の「一日保育士体験」事業の実施について          現在、核家族の進む中、子育てに孤立化する父母が増加している。育児への視野を広げるために、子どもが通う保育園で「一日保育士体験」を行っている自治体がある。その自治体では、体験者から「子どもの多様性や成長の過程がよくわかった。」又、「日頃、不安に感じている子育ての悩みを保育士に相談することができた」等との声があり好評。かつ保護者と保育士との信頼関係も構築されると当事業の推進拡大に尽力している。本市においても有効と考えるが実施の検討を伺う。</p> <p>2 子宮頸がんワクチン接種について          国は来年度予算で、標記の件につき自治体負担の3分の1を助成する方向であるが、本市も助成に踏み切るべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長
9	1番 沼倉 昭仁	<p>1 「実効性のある改善計画の議会への説明」について          風間市長は7月7日、白石市議会において「病院改革プラン」の「改定版」を説明した。この「改定版」は、今年の2月議会で、風間市長が、「6月までに実効性のある改善計画を議会に提出する」と自ら「約束」したことにより実現したものである。この「修正改革プラン」が、本当に「実効性のある改善計画」となり得るのかを市議会の範囲で検証するため、「答弁」を頂けなかった前回の6月議会に引き続き、風間市長に、再度、「答弁」を求めるものである。</p> <p>(1) 風間市長は、今年の2月議会の私の一般質問のなかで、今回の県の「計画」について、「ツインホスピタル、つまり、両方の病院が必要であるということ、序列化はどこにも書いてない構想である」と「答弁」していた。</p> <p>今回の県の「計画」で示された、中核病院が三次救急を担い、刈田病院が二次救急までしか担わない、というような「序列の付いた構想」は、風間市長が「弁明」するような「ツインホスピタル」ではないことは明らかであるが、風間市長は、今回の県の「計画」のなかで、「ツインホスピタル」の概念をどのように捉えているのか。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	1番 沼倉 昭 仁	<p>(2) この「ツインホスピタル」の概念規定と関連して風間市長は、今年の2月議会の私の質問への答弁のなかで、昨年度の「特別繰り入れ」が増額となった理由は、「刈田病院改革プラン」で「計画」されていた「医師数などの増員計画」が「計画」通りにいかなかったからだとして「答弁」した。</p> <p>それならば、7月に説明された「修正改革プラン」は、「医師の招聘策を具体的に示すプラン」でなければならないが、「病院側にも市長として伝えていきたい」と「答弁」していたにもかかわらず、その具体的計画が全く示されていないのはなぜか。</p> <p>全国的に深刻な医師不足のなか、また宮城県すら具体的な医師確保の方策を示すことができないでいる現状で、風間市長が目指す「ツインホスピタル」を実現するために、刈田病院の単独で効果のある医師招聘策を具体的にどのように聞いているのか。</p> <p>(3) 風間市長は、今年の2月議会での私の質問への答弁のなかで、「刈田病院の健全経営の根拠は、新たな改革プランには入れ込んで参りたい」と、赤字解消のための根拠を「修正改革プラン」には明示すると「答弁」した。</p> <p>ところが、「修正改革プラン」では、構成市町からの繰入金を「年度当初」より3億800万増やす「計画」となっている。</p> <p>「繰入金」を、「年度当初」より構成市町で3億800万増やさなければならない理由とは何か、そして、その赤字解消への対策はどのように講じられるのか、詳しい説明がなされるべきではないのか。</p> <p>さらに、「修正改革プラン」の「刈田病院に係る一般会計負担の考え方及び一般会計繰入金試算」の費目のうち、平成21年度見込みから10%以上の増減がある費目について、合理的な説明を求める。</p>	
10	9番 佐久間 儀 郎	<p>1 『ふるさと納税』制度について</p> <p>生まれ育った故郷に貢献したいという思いや、あのまちを応援したいという気持ちを寄付金という形で実現できる「ふるさと納税」制度が始まって2ヵ年、取り組みの温度差は自治体間で大きくなっていると報じられています。</p> <p>報道によれば、県内実績では南三陸町が1位で、石巻市が2位。南三陸町では、09年度は129人から731万9千円、本年度7月末時点では35人からの寄付があり、昨年同期比で3倍以上の伸びをみせているようです。そして善意の寄付金は、町のふるさとまちづくり基金に組み入れられ、防災や観光、福祉など七つの施策の財源に充てられたようです。</p> <p>経済不況下でどの自治体でも大幅な税収増は見込め</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	9番 佐久間 儀 郎	<p>ませんが、それだけに幾らかでも歳入増をはかろう、事業財源を確保しようとする行政の努力には頭が下がる想いです。</p> <p>本市でもふるさと応援団募集中！とネットで寄付を呼びかけていますが、以下、納税制度の運用実態、今後の取り組み方をお尋ねいたします。</p> <p>(1) これまでにふるさと白石の応援団に応募いただいた人数、寄付金額をお示してください。</p> <p>(2) 白石の歴史と自然を守るためにと、目的を限定して寄付を呼びかけしているようですが、実際の寄付金はどのように使われたのでしょうか。</p> <p>(3) 寄付者の自由度というか、寄付目的を幅広く、こまやかなメニューを提案することで、寄付がしやすくなり件数が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>(4) 多くは、条例を制定して基金に積み立てながら運用していくようですが、条例を制定する考えはないのでしょうか。</p> <p>(5) 寄付の金額に応じて特産品を送る制度はどの自治体にもありますが、南三陸町では特産品の魅力をあげることで出身者以外の寄付者が5割増しになったといいます。本市でも検討されてはどうでしょうか。</p> <p>(6) そもそも、納税（寄付）いただけるためには、魅力あるまちづくりが重要なポイントになります。こうした観点から、本市のまちづくりのスタンスとPR、そしてふるさと納税に対する市長の所信をお尋ねします。</p> <p>2 地域活動に対する財政支援のあり方について 住民の自発的な地域活動に対する財政支援について伺います。</p> <p>本市には、地区民の自発性と独自性をもって展開する事業に対し、その経費を補助する「白石市きらめき推進事業奨励金交付制度」を設置しています。その補助金交付要綱では、補助対象は、各まちづくり協議会などで対象事業はソフト事業に限定しています。</p> <p>補助金を交付することで地域のさらなる発展を図ることが狙いでありましようから、補助の対象をハード的なものにも拡張していく考えはないのでしょうか。例えば、地域住民が年間計画をたて生活道路を協同で補修しあう、そのための材料費補助を行政からうけることなどが想定されます。</p> <p>地域の抱える課題と解決策を住民で話し合ってもらい具体化した活動に対しては一括して補助金を交付していく、更には、地域自治と行政との協働を深めるため、地域に自由な用途を任せる財政支援のあり方について市長の所信を伺います。</p>	市 長